

## 《春 号》

2022. 4. 15

## あゆみ

Vol. 79

&lt;発行&gt;

社会福祉法人大阪府肢体不自由者協会  
 大阪府肢体不自由児者父母の会連合会  
 〒540-0006  
 大阪市中央区法円坂一丁目1番35号  
 アネックスパル法円坂内  
 TEL.06(6940)4181 FAX.06(6943)4661  
 E-mail:info@daishikyoo.or.jp  
 ホームページ: http://www.daishikyoo.or.jp

## 「職場は、利用者と職員の笑顔であふれている」

社会福祉法人 大阪府肢体不自由者協会 2022年度 事業計画

◆ 2025ビジョンについて ◆  
(継続)

- 利用者は、尊重され、その可能性を伸ばすことができる。
- 職員は、学ぶ意欲にあふれ、いきいきと働くことができる。
- 法人は、社会の課題解決に貢献する。

## ◆ 対応すべき重要課題 ◆

## ① 福祉人材の確保

法人は、2025年度までに、法人事業を遂行することのできる福祉人材を確保することを最重要課題と位置づけて取り組む。

## 福祉人材に対する考え方(継続)

- ①2025年には、約30万人の介護人材の不足が予想されている。
- ②東京や大阪などの都市部で多くの不足が起こることが懸念されている。
- ③2040年には、生産年齢人口が激減すると言われており、中・長期的な視点に立った取り組みが求められている。

## ① 中・長期的な視点に立った人材のマネジメントの強化(一部修正・追加)

- (1) 法人理念、倫理綱領・行動規範を職員に浸透させる。
- (2) 計画的な職員の採用、配置、労働条件の設定、育成を進める。
- (3) 横断的な職員の交流、連携の推進。

## ② 人材の確保に向けた取組の強化

- (1) 様々な採用ツールを活用した求人活動の実施。
- (2) 見学会や法人説明会の積極的開催。
- (3) 法人ホームページをリニューアルし、魅力ある情報発信を行う。
- (4) 働きやすい就労条件・環境を充実させる。
- (5) 魅力ある働きがいのある職場を目指す。
- (6) 障害者雇用に積極的に取り組む。

## ③ 人材の離職防止と定着に向けた取組の強化(一部修正)

職員間の人間関係を良好に保つような職場風土を醸成することが重要であり、法人内での職員交流の機会を増やし、職員間のコミュニケーションを促進し、離職を防止し、定着率を高める。

- (1) 新規採用者への新入職員研修、新規採用者による「よこつな研修会」を実施する。
- (2) ハラスメント防止のための研修を定期的実施する。
- (3) 法人内の各階層の定期的な面談を実施する。
- (4) 介護による腰痛防止のための研修会を実施する。
- (5) 勤務形態や年齢などの異なる多様な人材が活躍できる職場づくりを進める。
- (6) 国の処遇改善支援補助金等の制度を利用して、職員の賃金改善を促進する。

(7) 法人内で情報を共有しやすい仕組みを作り、法人内のコミュニケーションを促進する。

## ④ 人材の育成に向けた取組の強化

法人は、法人が求める職員像を明示し、専門職としての知識・技術・価値の共通基盤に基づくキャリア形成を支援する仕組みを構築する。また、資格取得を支援し、資格取得者率を上げていく。

- (1) 主任クラスの職員等、階層、職種別の法人内交流・研修を実施する。(サービス管理責任者、生活介護・就労B型職員、相談支援職、医療職等)
- (2) 「介護福祉士修学資金等貸付制度」法人保証を活用し、資格取得を促す。
- (3) 研修情報の提供や資格取得支援を充実させ、有資格者率のアップを目指す。(継続)
- (4) 職員が将来の姿をイメージできるようなキャリアパス制度にしていく。
- (5) 次世代経営チームの核となる指導的職員の育成を進める。

## ② 新型コロナウイルス感染症や災害への対応策強化(継続)

大枠としては、長期的な新型コロナによる活動制限の中での事業運営となると思われる。引き続き、利用者の生きる権利を守るために安心・安定的な事業運営に努力していく。

## ① 感染症対策の強化

状況に応じた対応を可能とする体制を構築する。

## ② 業務継続に向けた取組の強化

業務継続に向けた計画を策定する。

## ③ 地域と連携した災害対策の強化

非常災害対策計画を策定する。

(計画策定、関係機関との連携、訓練実施)

## ③ 守口障害者支援センター ひだまりの増改築・改修事業

(特記事項)

現利用者の利用環境の向上と地域の介護ニーズの高い利用者を受け入れるため、空きスペースを活用して増築を行うとともに、現有施設を改修する。増築・改修にあたり、守口市と土地・建物についての契約を更新する。

(2頁へ続く)

(1頁より)

## ◆ 事業実施における4つの基本姿勢 ◆

2022年度は、冒頭に掲げた重要課題とともに、この間掲げてきた4つの基本姿勢に基づき事業を実施する。

## 1 支援に対する基本姿勢

- ① 虐待防止・身体拘束適正化のための体制の強化を行う。(一部修正)
  - 虐待防止研修を実施する。
  - 虐待防止・身体拘束適正化委員会を開催する。
  - 虐待防止体制を構築する。  
(委員会責任者・事業所への虐待防止マネージャーの配置)
  - 虐待チェックリストを実施、「さん付け」呼称を徹底する。
  - 身体拘束に関する適正化のための指針について検討する。
- ② 各事業所での人権研修の実施
- ③ ②と併せて、良質なサービスを提供できるよう、係わり方、支援技術向上の為に内部研修の実施や外部研修への参加を進める。
- ④ 家族が良い状態にあるように家族への支援を進める。
- ⑤ 利用者のQOL向上を目指し、業務手順当の整備を進める。
- ⑥ 利用者の快適・安全な生活を保障するため、より配慮された生活環境の整備を進める。

## 2 地域社会に対する基本姿勢 持続可能な社会を実現する為の一員としての役割(継続)

法人が社会的な存在である以上、法人は、その社会に対して果たすべき責任を有している。

「持続可能な開発目標」SDGsの17の目標は、社会全体が取り組むべき目標として掲げられた。SDGsの根底に流れる価値観は、法人の経営理念や事業目的と深く関わっている。

すなわち、私たちに特有の領域としての福祉サービスの提供は、目標3「すべての人に健康と福祉を」において、成果を上げることが期待されている。

SDGsの目標は、それ自身が法人の活動領域での課題につながっているものが多く、地域でSDGsに取り組む団体とのネットワークや活動への連帯を進めていく。

法人は、SDGsの活動に連帯していく。

- ① 参加者から喜んでもらえるような社会参加事業の実施。
- ② 信頼と協力を得るための情報発信
  - 機関紙「あゆみ」の継続的発行と内容の充実に取り組む。
  - 法人ホームページのリニューアル。
  - パン販売やカフェの活用による情報発信。
- ③ 福祉の仕事のやりがい社会に発信し、福祉業界を盛り上げていく。

## 3 福祉人材に対する基本姿勢(最優先の課題として記述済)

## 4 法人経営に対する基本姿勢

法人が将来にわたって継続・発展していくためには、地域社会から評価され、信頼されることが大切である。そのためには、法人は、社会福祉法人としてのたたずまいを整え、経営基盤の強化を図りながら、サービスの質の向上と事業の透明性の確保に努める。

## ① 経営者としての役割

リーダーシップを発揮し、中・長期的な視点から事業運営に取り組む

- 経営理念等の明確化。
- 中・長期計画の策定。
- 次世代を担う経営チームの育成。

## ② 組織統治の確立

理事会・評議員会・監事による適正な組織運営体制の構築を目指す。

- 理事会・評議員会・監事への適切な情報提供を行う。
- 組織体制を整備し業務執行体制を強化する。

## ③ 健全で安定的な財務基盤の確立

法人全体、事業ごとの経営状況を適切に把握する。将来のリスクに備え、事業継続のために安定的な経営基盤を確立する。中期事業計画・長期事業計画に基づく資金計画を立案する。

- 財務状況を正しく把握し、安定的な財務基盤の確立を目指す。
- 施設整備など長期的な視点に立った資金計画を策定する。

## ④ コンプライアンスの徹底

- 法令順守を徹底し、社会から信頼される法人を目指す。

大肢協 大阪府肢体不自由者協会は  
大阪ふれあいキャンペーンに参画しています。

## &lt;大阪ふれあいキャンペーンとは&gt;

大阪の障がい者施策は、昭和56年の「国際障害者年」の基本理念にある「完全参加と平等」の実現をめざし、昭和58年から「国連・障害者の十年」以降大きく展開しました。

大阪ふれあいキャンペーンは、この「国連・障害者の十年」を契機に始まり、30年以上にわたって、障がい者団体や地域福祉団体、行政が連携して、府民の障がい理解を深める取組みを進めてきました。

大阪ふれあいキャンペーン実行委員会は、府内44の全自治体と障がい者団体及び地域福祉団体等44団体の、計88団体で構成されています。

## &lt;めざしていること&gt;

私たちは、障がいのある人もない人も互いに理解して、支え合いながら喜ばせる社会づくりをめざしています。

そのためには、家庭や学校・職場、さらには街中での、人と人のふれあいが大切です。「何かお手伝いしましょうか?」と声をかけたりすることから、温かい社会づくりは始まります。

私たちは、府民のみならずとも、府民の障がい理解を深める取組みを続けてまいります。

## &lt;障がいに関する様々な情報を投稿しています&gt;



## 大肢協 地球兄弟チャリティコンサート

日時 3月26日(土) 午後5時30分～

場所 うめきたSHIP HALL

出演 河口恭吾 / 中村美津子 / 佐合井マリ子

主催 大阪梅田ライオンズクラブ

大阪梅田ライオンズクラブさんの御厚意によりコンサートにご招待いただきました。

新型コロナの影響で、2年振りの開催となりました。このコンサートは、「地球兄弟」という楽曲を中心として、世界の紛争、貧困、人権・環境問題など平和活動や国際協力の推進に寄与するプロジェクトです。

このプロジェクトに長年関わってこられた河口恭吾さんも「ウクライナとロシアの紛争が起こっている今、このコンサートを開催することの意義を感じます」と平和への願いを語られました。

滋賀県を中心に活動されている佐合井マリ子さんの迫力ある歌声、紅白歌手の中村美津子さんの陽気なステージ、河口恭吾さんの甘い歌声と渋いギタリストとの演奏。

参加者は、久々の生演奏を満喫しました。

開催にご尽力いただいた大阪梅田ライオンズクラブの皆様へ感謝いたします。



## 大肢連 全肢連さわやかレクリエーション 防災研修会「災害時個別支援計画」について

箕面市肢体不自由児者父母の会 下野 百合子

3月17日(木)、午前10時半より箕面市立障害者福祉センター ささゆり園にて会員を含め約30名の参加者のもと研修を行いました。

講師は京都橘大学看護学部専任講師の黒瀧安紀子先生です。

令和3年5月災害時基本法の個別避難計画の作成を市町村が主体となり5年以内に取り組むことが努力義務になりました。その経過を踏まえどのような流れで作成するのか計画の記載内容等お話を聞き、実際に個別避難計画を作成してみました。この支援計画を共有するのはどうすればいいのか、システム作りが大きな課題です。

行政、地域包括支援センター、計画相談員、各小学校区の防災委員会等、システム作りが早急に取り組まれることを願ってやみません。

尚、この研修は全肢連の「さわやかレクリエーション」の補助金をいただいて行われました。



事務局長 後藤 恵

コロナ禍により、総会、対市懇談、レクリエーション等、ほとんどの活動がストップしてしまいました。

12月に開催予定だったレクリエーションも令和2年度に引き続き3年度も中止せざるを得ず、せめてもと会員全員にQUOカードを贈りプレゼントとさせていただきます。

いつまでこんなことが続くのか?と、変異を繰り返すウイルスに気持ちは暗くなりますが、きっとすぐ先に明かりが見えていくと信じ、細々とではありますが活動を続けていきます。

## 大肢連 大阪市ブロック会議2年ぶりに開催!

3月30日(水)、午前11時より大阪駅前第3ビルの34階にある『中納言』にて大阪市ブロック会議を2年ぶりに開催することができました。

大阪市の6区の会長及び役員21名が集まり、各区の近況報告と令和4年度のブロック長を決めました。

会議の後は、おいしい昼食をとり2年分の情報交換を楽しみすることができました。95歳のご長老をはじめ皆さん元気はつらつとされていて、女性の明るさや強さを感じました。新型コロナウイルス感染症が少しでも収まり、今年度も開催できることを切に願います。



大肢連

## 新成人13人に記念品をお渡ししました!

大肢連では令和3年度、13人の新成人に記念品をお渡ししました。

堺市父母の会では感染対策をしっかりと取りながらお祝い会を開催、和泉市父母の会は新成人の方のご自宅に記念品を届けました。

新型コロナウイルス感染症が急激に拡大するなか、開催が危ぶまれたのですが、1月11日(火)に「成人式」をなんとか開催することができました。



会場は、グループホーム堺あけぼのの広いリビングです。

11名の新成人の方々は、グループホームに初めて訪れ、また学生時代の同級生と久しぶりにお会いしたことで、気持ちが高ぶられた方や圧倒される方、会場となったグループホームを隅から隅まで確認される方など、本当に久しぶりにワイワイと楽しいひと時を過ごされました。

ご家族の方々からは、異口同音に「開催していただき、本当に有難うございます。」「成人を迎えるまで成長するとは思っていませんでした。」と涙を浮かべながら挨拶をいただきました。

(社福)堺あけぼの福祉会 理事長 但馬 秀樹

今年度は対象者が1名で新型コロナウイルス感染拡大のため式典は開催せず、2月23日(水)大肢連から頂いた記念品と和泉市長からのお手紙、親の会からのプレゼントをもってご自宅へ訪問させていただきました。

とても喜んでくださり、素敵な笑顔と立派に成長された姿にお祝いできたことを嬉しく思いました。

和泉市手をつなぐ親の会 会長 南 朋子



20歳になられた田頭 優さん



### 大肢連 令和4年度 大肢連總會のご案内

新型コロナウイルス感染予防のため出席者を少人数にし、短時間で総会を開催することになりました。  
各父母の会より1~2名のご出席をお願いいたします。

**と き** 4月27日(水) 午前10時45分~正午  
※受付10時30分~

**会 場** 難波市民学習センター 第2研修室  
住所: 大阪市浪速区湊町1-4-1 OCATビル4階  
(JR難波駅 上)

**総会議事** ①令和3年度事業報告・決算  
②令和4年度事業計画(案)・予算(案)  
※申込み・問合せは大肢連事務局まで

#### 近畿福祉大会の冊子ができました!

「第55回近畿肢体不自由児者福祉大会大阪大会」が新型コロナウイルス感染拡大のため開催できませんでしたが、大会開催にかえて冊子を作成しました(昨年10月発行)。

主な内容は「福祉と医療の連携」をテーマにした2本のレポートと大会決議等です。まだ部数に若干の余裕がありますので、必要な方は大肢連事務局までお問合せください。

大会実行委員長 木本 敏行

#### 青い鳥郵便葉書の無償配布 ※詳細はお近くの郵便局まで

**配布対象** 重度身体障がい者(身体障害者手帳に「1級」又は「2級」の表記がある方)  
重度知的障がい者(療育手帳に「A」(又は「1度」、「2度」)の表記がある方)

**受付期間** 4月1日(金)~5月31日(火)

**配布枚数** 一人20枚

**申出方法** 最寄りの郵便局の窓口に身体障害者手帳又は療育手帳を提示し、所定の用紙に必要な事項を記入、提出してください(なお、代人による提出も可能です)

**配布方法** 4月20日(水)以降、郵送または手渡し

### 販売

会員割引  
あります



伝統の味わいを心ゆくまで  
お楽しみ下さい。

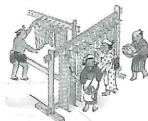
長崎島原名産 威田本格手延べ  
島原手延べ  
「細さ」「さわり」「こし」



K-50 細条の製法(厚さ200g(55x40))  
標準小売価格 1箱 5,400円  
(本体価格 5,000円)  
包装外寸=335x219x47mm



B-40 夏ごろの製法(厚さ100g(55x36))  
標準小売価格 1箱 4,320円  
(本体価格 4,000円)  
包装外寸=318x220x42mm



◎ご注文は地域の父母の会または大肢連事務局まで  
TEL:06-6940-4181

#### ◆大肢協人事◆

○職員

4月1日付 就任 ぴょんぴょん教室 所長 稲原 珠実  
4月1日付 就任 ひだまり 所長 堀 里香

### 高畑敬一を偲ぶ会

当協会の理事長を長らく務めていただいた高畑元理事長を偲ぶ会が、去る2月28日エル・おおさかで特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ(NALC)の主催で開催されました。新型コロナの影響により延び延びとなっていた会でした。



令和2年2月8日逝去  
(享年90)

高畑敬一さんには、平成14年3月から平成29年6月まで15年以上にわたって、法人の理事長を務めていただきました。

本当に有難うございました  
感謝、感謝です

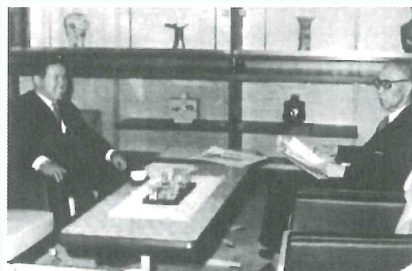
当日は、NALCの会員さんからのコーラスや贈る言葉があり、東京・大阪を歩いたエピソードなどの紹介がありました。会のしめくりは、高畑さんが相撲甚句(じんく)を歌う歌声が会場に流れました。

高畑敬一

♪ いろいろお世話になりました  
お名残惜しゅうは候らえど  
今日はお別れせにやならぬ  
我々立つたるその後は  
お家繁盛町繁盛  
悪い病気の流行らぬよう  
陰からお祈りいたします ♪

いつも快活に笑われる高畑さんの姿が浮かびました。

大肢協 理事長 野間田 徹



松下幸之助氏と懇談する高畑氏



NALC研修会で講師を務める高畑氏

### 主な行事(4月~7月)

- ★造幣局特別観桜会(造幣局招待)  
4月12日(火)
- ★大阪府肢体不自由児者父母の会連合会 総会  
4月27日(水) 10:45~12:00  
難波市民学習センター 第2研修室 ※4頁参照
- ★日帰りレクリエーション(大阪府受託事業)  
6月25日(土) 神戸アトア水族館
- ★対府要望(大肢連)  
未定
- ★第56回 近畿肢体不自由児者福祉大会 滋賀大会  
未定